

進行中

芝川第一調節池 新芝川の堤脚水路工の整備

芝川第一調節池については現在、この左岸工事が終わり、右岸側の調節池は、これまでに掘削工事軟弱地盤対調節池の整備、土砂災害対策などを加速化することが明言されました。

また新芝川については、新年度予算において河川改修費が計上されており、堤脚水路工の整備が進むことになっております。

◆ 埼玉版流域治水対策の継続と深化

- ・ 河道や調節池の整備、土砂災害対策などを加速化
- ・ 情報空白地帯への水位計や河川監視カメラ等の新規設置



DX推進 行政手続きのオンライン化

DXの目的はデジタル化ではなく、ワンスオンリーやワンスストップなどサービスの質の向上にあることを踏まえ、オンライン手続きの利便性向上に取り組めます。そしてリスト化されている一覧表を県民にわかりやすくマッピング化（可視化）することが進み、より利便性を感じられるようになります。特に5Gはスマートなインフラの一つに位置付けられ、本県のDXビジョンにおいても有効活用を図ることとしています。



- 消防団と共に 小学校で防災講座
- 連合埼玉の皆さんと ゴミ拾い活動
- 平日はほぼ 毎日駅頭活動



子育て支援

令和5年度の予算案の中で特に注目のべき施策は、約24億円の予算を計上した子育て支援となります。東京都では18歳以下の子どもに月5,000円程度を支給するという施策が注目されましたが、埼玉県では、さらなる子育て支援の充実をはかるため、第1子以降へは1万円以上相当のギフトボックスの配布と5万円相当の出産応援ギフト&子育て応援ギフトの費用や新たな取り組みとして朝霞市内に8番目となる新たな児童相談所を設置するための費用等が盛り込まれています。

新規 子育て支援の充実 24億3,013万6千円

◆ 安心して出産・子育てのできる相談支援と経済的支援の一体的実施

- ・ 妊婦期から出産・子育てまで一貫した伴走型相談支援と経済的支援を実施する市町村への補助
- ・ 市町村が実施する第1子以降への給付事業等の上乗せして、最大1万円相当のギフトボックス等を配付

出産応援ギフト (5万円相当)
子育て応援ギフト (5万円相当)

障がい者支援

障害児・者の生活支援体制の施策として、医療的ケアや分身ロボットを活用した重度障害者の就労機会の確保、社会参加の促進の拡充や特別支援学校の整備を進めます。

分身ロボット カフェの視察



◆ 新規 障害児・者の自立・生活支援 1億6,104万円

- ◆ 医療的ケア児等支援体制の構築
 - ・ 地域の実情に応じた支援を充実するため医療的ケア児等支援センターを拡充
 - ・ 特別支援学校に在籍する医療的ケア児が、安心して通学し、学習できる体制を整備
 - 福祉タクシーでの通学に同等する看護員費用を補助
 - 通学支援のための連絡協議会の設置
 - 看護員の委託方式をモデル校1校で検証
 - ◆ 特別支援学校の整備
 - ・ 児童生徒の増加に対応するため、特別支援学校を整備
- | 事業内容 | 設置地区 | 定数(名) |
|----------|----------------------|-------|
| 高校内分校の新設 | 大宮西區、豊原南區、三原北區(共6校) | 144人 |
| 既存校の増設 | 川口特別支援学校 (R8-R10新増設) | 174人 |
| 計 | | 318人 |

やります!
できます!
届けます!



しらね だいすけ

埼玉県議会議員 (川口市)

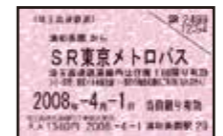
住み続けたい街、埼玉・川口を!
県政報告 - 総まとめ -
2023/02/28

実績

埼玉高速鉄道線(SR)と東京メトロの一日乗車券値下げ

議会の一般質問でしらねが提案していた埼玉高速鉄道と東京メトロ間直通電車の実質的値下げが実現し、2019年10月1日から1日乗車券が40円~80円の減額となりました。利用者の更なる利便性の向上が期待されます。

令和2年度
販売枚数:20%増↑
売上:8%増↑



(仮)川口北警察署の新設

建設地の周辺は通勤通学路でもあり、店舗が夜遅くまで照明をつけていたのですが、近年のコロナ禍の影響で店舗の閉店時間の前倒しや経費削減のためか照明を落とす時間が早まっております。しらねは以前から議会にてその重要性を訴えておりました。この令和8年度完成予定の警察署は川口北東部の急激な人口増加に伴い、また一署あたりでカバーする人口割合も県下ワーストであることを考えますと、早期の完成が望まれます。また新設されるまでの間にも地域の安全対策を講じるという提案もさせていただいております。

川口北東部地区に 取り付けられたLED街灯



屋内50Mプール川口市に設置

令和3年3月の定例会にて提案させていただいた屋内50Mプールの整備は川口市神根グラウンド場及び神根公園にて計画されています。市が保有する神根グラウンド場部分について、平面駐車場として予定をしている問題で「大会開催時はパーキング、非開催時には多目的グラウンドとしてそれぞれ利用が出来る方向である」ことを確認し、しらねが奥ノ木市長に地域の要望をしたところ回答がありました。



洪水ハザードマップの作成実現

近年の異常気象により線状降水帯が発生し、県南地域でも短時間での雨量によっては危険な状態になることが想定されることもあり、2019年の定例会等を含め県から各市町に指示されたことで、洪水ハザードマップの作成推進が着実に進んでおります。

水防法に基づく洪水ハザードマップ作成対象の市町



国道122号「里交差点」の 右折矢印信号の設置

坂下町1丁目自治会の皆様からのご協力により、国道122号「里交差点」の県道側信号に右折の矢印信号が設置されました。これまで国道への右折車により渋滞が起きていたため、矢印信号の設置で渋滞の緩和に繋がります。



SR鳩ヶ谷駅東口出口前点字ブロックと、 鳩ヶ谷商工会前道路の区画線及び道路標示改修

多くの人を通る場所の為、皆様からの声の実現となり安全が確保された事を大変嬉しく思います。



しらねだいすけ Profile

1979年5月13日生まれ、川口市朝日出生、十二月田(しわざだ)小・中学校卒業、正則学園高校卒業、ボストン大学(政治科学学部)卒業<留学中マンチェスター市市長室でインターン経験>、富士通(株)入社し営業とSEのビジネス支援部隊に配属→退社後2007年の統一地方選挙で市内交通網(特に、コミュニティバス路線網)の再構築、市議会の見える化など市政の改善を目指し市議会議員に立候補、2位(4764票)で市議会最年少(27歳)当選を果たす。鳩ヶ谷から埼玉県議会議員選挙に立候補するも惜敗。捲土重来を期し、翌日から活動、石田勝之元衆議院議員秘書を経験し、2015年合併後初の新川口市選挙区で埼玉県議会議員に立候補するも次点。朝日2丁目副町会長歴任。2019年の埼玉県議会議員選挙で初当選。現在:学習塾等を経営、川口市消防団員、川口市立十二月田中学校同窓会会長、NPO法人メディカルヘルスケア療法協会顧問、川口むさし野RC所属、川口市ワンバウンドふらば〜るバレー参与、(公社)川口青年会議所卒業【令和4年度:企画財政常任委員会、地方創生・行政改革特別委員会、予算特別委員会 所属】

埼玉民主フォーラム川口支部 TEL:048-229-0461 FAX:048-229-0462
〒332-0001 川口市朝日 2-17-7 https://www.d-shirane.jp/

やります!
できます!
届けます!



詳しい情報や各種SNSはこちら 討議資料

コロナ禍でのフードドライブと学習支援

フードドライブは家庭で余っている食品を集め、フードバンクや社会福祉協議会などを通じて食品を必要とされる方や子ども食堂等に寄付する活動です。フードドライブ活動を実施している皆様のお手伝いとして参加。また子供たちの学びを止めない為に有志で学習支援も開始しました。



見沼代用水東緑地区の周辺活用事業

令和元年9月に世界かんがい施設遺産に指定された見沼代用水ですが、周辺住民から「遊歩道を整備し水辺に親しむ、癒やし又はにぎわいのある空間を創出してほしい」との声が上がっており、令和3年2月定例会のしらねの答弁により整備が始まりました。

※事業期間
令和3年度～7年度（予定）



新芝川整備事業について

令和元年東日本台風の影響により降雨後、堤防からしみだした水が道路に垂れ流しとなっていました。整備効果を推進することにより適切な排水システムが確保されるようになりました。今後数年かけて整備を行っていきます。



県道市役所通りの街路樹剪定

近隣住民からの要望を受け実施、実現しました。



川口市立南中学校前の沿道にLED街灯の設置

通学路にも関わらず夜間は写真のとおり非常に暗く防犯上にも問題があるとのことでLED街頭の設置を実施しました。



本町大通りの剪定と補植

川口駅東口川口本町大通りから続く県道89号川口停車場線の両側約50メートルには、ツツジの植栽が植えられていますが、立ち枯れ、雑草だらけの状況で、地域住民の皆様から、早急に補植してほしいという要望を受けました。さいたま県土整備事務所の現地調査にはしらねも立ち会いながら実施をし、令和4年度4月に「植木の里安行」で栽培された、サツキツツジの補植が実施されます。



青木橋遊歩道の草刈り

住民からの要望により写真に、該当箇所を草刈りを実施させていただきました。



実施前

実施後

国道122号線沿いの雨水対策

朝日1、2丁目国道122号線沿いの通学路が雨水で溢れており雨水対策を講じました。



修繕前

修繕後

駅の雨漏り修繕とバス停の植栽剪定

SR川口元郷駅
構内の雨漏り修繕

安行吉蔵バス停
付近の植栽剪定



修繕前

修繕後

修繕前

修繕後

埼玉県電気自動車等導入費補助金事業

埼玉県は自動車から排出される二酸化炭素等の削減を図るとともに災害時のレジリエンス機能を強化するため、電気自動車等、並びに外部給電器を導入する方を対象に、国の補助金に対して上乗せで補助を行います。

しらねは埼玉県5か年計画特別委員会で、レジリエンス（災害時の復旧まで時間をいかに短くすること）対策として、今後EV車の普及促進・活用するには県としても補助金を通年で実施する必要があることを提言し、9月補正予算で予算化されました。20日から始まる2月定例会では、令和5年度の予算特別委員会委員に選出されており引き続き外部給電器の設置の普及も要請してまいります。

※令和5年2月14日時点の予算残額：約2.8億円（42%）

電気自動車 (EV)	普通自動車	CEV補助金の補助金額の2分の1 (千円未満切捨て) 又は40万円のいずれか小さい額
	小型・軽自動車	CEV補助金の補助金額の2分の1 (千円未満切捨て) 又は27.5万円のいずれか小さい額
プラグインハイブリッド自動車 (PHV)		CEV補助金の補助金額の2分の1 (千円未満切捨て) 又は27.5万円のいずれか小さい額
外部給電器		CEV補助金の補助金額の2分の1 (千円未満切捨て) 又は25万円のいずれか小さい額

旧田中家住宅前と国道122号線歩道 (エルザタワー周辺) 付近の安全対策

安全対策のため横断歩道や歩道の補修を行いました。

旧田中家住宅前にある歩道の安全対策 エルザタワー側歩道



対策前

対策後

対策後

劣悪な無料宿泊所になる施策

住居を失った生活困窮者の方が福祉事務所等への行政の窓口相談すると、社会福祉事業である無料低額宿泊所を紹介され、福祉関係が所管でない「あんしん賃貸住まいサポート店制度」については紹介されないと聞いております。その結果、無料低額宿泊所に入りたくないと、路上やネットカフェ等での生活を選ばれる方もいらっしゃいます。そうした現状を踏まえ、生活困窮に関わる相談窓口で相談者の状況や希望に応じて、無料低額宿泊所等の福祉関係施設でなく、この「あんしん賃貸住まいサポート店制度」につなげられるような体制を整えるよう議会にて提言しました。



日暮里舎人ライナーの延伸 埼玉高速鉄道岩槻まで延伸、加速化へ

日暮里舎人ライナーの延伸について、見沼代親水公園駅から日暮里駅までのピーク時の混雑状況は既に189%であり、足立区側は消極的な意見が聞かれると言われております。ただ、埼玉県と東京都では定期的にこの都市交通問題について協議している状況であります。これまで2回しらねは県議会でも一般質問で同問題を取り上げ、既存の軌道交通の延伸前提ではなく、LRTやロープウェイなどの新たな軌道交通の敷設により、乗り継ぎ駅から接続するという方法も提言を続けています。埼玉県では、大野知事の公約である「あと数マイルプロジェクト」におきまして、「公共交通の利便性向上検討会議」を設置し、検討を行ってきました。鉄道延伸については、5路線（日暮里舎人ライナーを含む）を対象に、延伸の実現に向けた課題の整理と取組の方向性が示されました。

また埼玉高速鉄道は、浦和美園から岩槻を経て蓮田までの答申路線の延伸計画があり、浦和美園から岩槻の約7kmを先行整備区間としております。さいたま市の清水勇人市長は、埼玉高速鉄道の岩槻までの延伸について、「2023年度のできるだけ早いタイミングで、鉄道事業者へ要請する」と記者会見で述べております。



交通拠点リニューアルと輸送問題

11月8日に川口市の奥ノ木市長は、川口駅の駅舎等のリニューアルに伴い、東西連絡自由通路の拡大やコンコースの幅拡大に伴う建替え、またこれまで懸案の課題となっている川口駅とSR川口元郷駅まで結ぶ移動の円滑化を県に都市基盤整備の予算化を求め要望書を大野埼玉県知事に提出しました。

川口駅の京浜東北線や並走する中距離電車が停止や遅延すると駅の改札口のみならずペDESTリアンデッキは人だかりの混雑が発生し、代替輸送として南北線に直通するSR線に乗り換えをします。しかし、SR川口元郷駅までは1km以上あり徒歩でも10分以上あることから、バス等の公共交通で輸送するにしても振替輸送の費用は個々の負担になってしまうなど利用者にとって不便な状態が続いております。まず、しらねも提言するJR川口駅とSR川口元郷駅間を結ぶ六間通り上に円滑に輸送する無料の交通網の構築必要であります。

六間通り線の機能・魅力の向上について(案)

